



新任教授のあいさつ

新生 琉球大学 第二内科が沖縄の地で目指す 医療、医学教育、医学研究

器官病態医科学講座 内分泌代謝内科学(第二内科) 教授 益崎 裕章

2009年10月1日付けで内分泌代謝内科学(第二内科)教授を拝命致しました益崎裕章で御座います。本誌面を御借り致しまして琉球大学医学科同窓会の諸先生方に謹んで御挨拶を申し上げます。琉球大学医学部内科学の礎を築き、県内外に幾多の優れた人材を輩出してきた伝統・歴史に育まれた名門の教室を引き継がせて戴く御縁に恵まれ、大きな責任と大きな未来を前にした今、誠に身の引き締まる思いで御座います。

琉球大学第二内科は初代 三村悟郎 名誉教授、第2代 高須信行 名誉教授の卓越した御指導のもと、内分泌代謝内科、循環器内科、血液腫瘍内科の各分野にわたる臨床、教育、研究を担当し、極めて重要な役割を果たしてまいりました。第3代教授を担当させて戴く私の役目は 権力ではなく“徳”で教室を纏め、教室に集う先生方を幸せにすること、同窓会の先生方との交流・融和を更に促進すること、新時代の要請に応える質の高い医療と医学教育を提供し、沖縄の地でしか実現できない独創的研究を展開し、その成果を日本、そして世界に発信していくことであろうと考えます。希望に溢れた未来を開拓し、“内外に存在感を示す教室創り”のためには琉球大学医学科同窓会の諸先生方、第二内科同門会の諸先生方の倍旧の御指導と御鞭撻が不可欠であります。どうか末永く宜しく御導き下さいますようお願い申し上げます。心より御願い申し上げる次第で御座います。

私は平成元年に京都大学医学部を卒業し、平成4年に京都大学第二内科大学院博士課程(井村裕夫前京都大学総長、中尾一和 京都大学 第二内科教授)に入学、平成8年に大学院を修了、医学博士を取得し、平成12年からの3年間は米国ボストン市

のハーバード大学医学部に留学(ジェフリー・フライヤー教授;現ハーバード大学医学部長)致しました。この間、一貫して代謝・内分泌病学の臨床、教育、研究に携わり、特に、脂肪細胞の機能調節や視床下部のエネルギー代謝調節に関わる分子機構の解明、肥満症・メタボリックシンドロームにおける新規診断法・治療法の開発研究に従事致しました。大講座時代の京都大学第二内科には内分泌代謝内科のみならず動脈硬化・高血圧、循環器内科、腎臓内科、血液腫瘍内科、膠原病リウマチ内科のグループが互いに切磋琢磨しており、内科学全般を俯瞰する多くの機会に恵まれたことは誠に幸いでありました。

本年、2009年は私にとりまして医学部卒業後20年目の“節目の年”であると同時に、米国史上初の黒人大統領が誕生し、我が国では政権交代が現実のものとなるなど地球規模での“変革の年”となりました。人格・実力相俟った優れた医療人の育成は教室の最重要課題と位置付けております。激動する医療環境の中にあっても“変化を恐れず”、“新しい海に漕ぎ出して行く勇氣”を失わず、常に“進化力”と“ブランド力”を持ち続ける“輝く医師”を育ててまいりたいと存じます。琉球大学第二内科科学教室がこれからも皆様に愛され、心の拠り所となる温かいプラットフォームであり続けられるよう微力を尽くして誠心誠意、精進してまいります。琉球大学医学科同窓会の諸先生方、第二内科同門会の諸先生方の御指導・御鞭撻と変わらぬ御引き立てを心より御願い申し上げ、着任の御挨拶に換えさせていただきます。